

準決勝
松本第一 創造学園

0 (0-0) 0

0-0延長
0-0PK
4-2

▽得点者
林 嶋田沢木藤山倉取村本
福原宮城加内橋名三坂

▽交代
【松】小松(後26加藤)丸谷(後40名取)清水(延後9林)前谷(後8大沢)北原(後13山口)小林(後20武田)樋口(後38立野)

準決勝
都市大塩尻 東海大三

3 (0-0) 0

3-0

▽得点者
後02平林 後10鮎沢 後17有賀

▽得点者
田角桑有岡百青平鮎吉代

▽交代
【都】大島(後11平林)原(後24角山)小原(後31百瀬)鮎沢(後38代田)中島(後06瀬戸)水谷(後13唐木)

決勝は中信対決に

第94回全国高校サッカー選手権大会は31日、松本市の総合球技場アルウィンで準決勝があり、松本第一と都市大塩尻が決勝に駒を進めた。松本第一は創造学園をPK戦の末に破って初の決勝進出、都市大塩尻は東海大三を3-0で下して連覇に王手をかけた。(山浦雄一郎)

高校サッカー



松本第一は自慢の守備で創造学園の攻撃を防ぎきった。前半12分に創造学園がゴールネットを揺らすも、これがオフサイドの判定。その後も延長戦を含めて創造学園が圧倒的に攻撃を仕掛けるが、体を張った守りで決定的な場面を作らせなかった。PK戦では途中出場のGK清水の好セーブもあり4-2で勝利

都市大塩尻は前半、攻撃のリズムがかみ合わずに0-0で折り返すと、後半2分に岡村の左クロスで平林が右足で合わせて先制した。10分にはFKのこぼれ球を鮎沢涼が豪快にミドルシュートをたたき込んで突き放すと、その7分後には有賀のゴールで試合を決めた。決勝は7日にアルウィンで行われる。午後1時半のキックオフと

都市大連覇へ盤石

攻撃陣躍動難敵退ける

都市大塩尻は自慢の攻撃力が後半に爆発した。前半は攻守で東海大三の力強さに翻弄されたが、そこは優勝候補筆頭の都市大塩尻。ハーフタイムできっちり修正し、ゴール3発をたたき込んで完全に試合を支配した。

「前半は圧倒されて自分たちのサッカーができなかった」と青島友輝主将(3年)。その悪い流れを断ち切ったのが、ハーフタイムの高橋裕之監督のげきだった。「自分たちのサッカーができていない。悔いを残していいのかわ」。その言葉を選手は奮い立った。

後半2分、左サイドを起点に平林裕葉(3年)が先制ゴールを奪った。「0-0の緊迫した中で流れた」と笑みがこぼれた。

連覇に挑む都市大イレブン。決勝の舞台に向けて自信を深める一戦となった。(山浦雄一郎)

「1点で終わりでなく、しっかりと得点を積み重ねられた」と笑みがこぼれた。

「1点で終わりでなく、しっかりと得点を積み重ねられた」と笑みがこぼれた。



【東海大三-都市大塩尻】後半10分、豪快にボレーシュートを決める都市大塩尻の鮎沢涼(左)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。